

授業改善・学力向上に向けた 組織的・効果的な校内研究

～各校の好事例～

この研修の内容は、令和4年度第2回学力向上研究主任会で配信した内容を一部編集したものです。

授業改善・学力向上に向けた組織的・効果的な校内研究(各校の好事例)

PDCAのAの1つ目
カリキュラム・マネジメントの視点で
教育課程を見直し授業改善に生かす



朝ヶ丘中学校の取組 課題改善に向けての取組を明確にして 可視化し、取組の検証を行う 次の一手が打てるような 会の仕組み作り

第6回教科会 まとめ
令和4年9月22日(木)

1 課題改善に向けた取組

①授業や加力学習、家庭学習において、基礎的・基本的な知識の習得をねらった取組を行う。【定着】
②教科書の文章やテストの問題文の情報を適切に読み取ることができるように読む時間を確保したり、文章や図表等の読み方を指導したりする。【読解】
③学習後の「振り返り」を基に授業を検証し、補充指導や発展的な指導につなげる。【振り返りの活用】

□各教科会から…2学期に重点的に取り組むこと

国語 ・[サマーセミナーから]振り返りの活用…期待する振り返りの設定、振り返りを書くことのメリットを生徒自身に理解させるような働きかけや仕組みが必要。
・ペラットの感想掲示…同じ生徒の感想ばかりにならないように配慮する。ほめる・認める声がけを。
社会 ・3年 加力…実践式の問題、読む・書く(記述)問題、複数資料の読み取り
・2年 加力…前半:単語 10 問テスト(一問一答)、後半:書く(記述)問題、複数資料の読み取り
・1年 加力…単語 10 問テスト(一問一答)、テストに向けて資料の読み取り、文章問題
・振り返りのフィードバック…ロイロで提出させ、ラインやコメントを入れて返している。
数学 ・振り返り(一枚ポートフォリオ)…生徒の疑問や定着しているかどうか判断→フィードバック
・授業中、問題を多く解く(1~5問(個人・グループ)、ワーク → 技能面の強化
・文章題・活用問題を6問 → 解決過程をロイロにアップ、解説を読んだら分かるようにしたい。
・生徒の教え合いに任せる時間を作り、支援が必要な生徒の個別支援の時間を確保する。
理科 ・ベースアップして基礎の範囲を野あらせる。
・知識を活用する課題づくり
・考察・振り返りを書く力を育成する → 2週間程度の単位で評価(ルーブリック)
英語 ・要点を明確にした振り返り → 次の授業につなげる
・情報カードを毎時間貼って定着を図る。
・英語活動を取り出す → 目録簿以上を達成させる
・単元ゴールを毎時間確認して、定着させる。(ルーブリック)
技術 ・タブレットの活用
・振り返りの活用(他校では、家庭で入力した提出率が上がった例がある)
・授業参観

2 高知系学方定着状況調査に向けて
-教科会で、各学年、いつまでに何をやるかを話し合う。【対策】

3 その他
(1)公開授業の参観をし合う

10/21(金)第7回教科会
会場:公開授業から

1 課題改善に向けた取組

①授業や加力学習、家庭学習において、基礎的・基本的な知識の習得をねらった取組を行う。【定着】
②教科書の文章やテストの問題文の情報を適切に読み取ることができるように読む時間を確保したり、文章や図表等の読み方を指導したりする。【読解】
③学習後の「振り返り」を基に授業を検証し、補充指導や発展的な指導につなげる。【振り返りの活用】



□各教科会から…2学期に重点的に取り組むこと

国語 ・[サマーセミナーから]振り返りの活用…期待する振り返りの設定、振り返りを書くことのメリットを生徒自身に理解させるような働きかけや仕組みが必要。
・ペラットの感想掲示…同じ生徒の感想ばかりにならないように配慮する。ほめる・認める声がけを。
社会 ・3年 加力…実践式の問題、読む・書く(記述)問題、複数資料の読み取り
・2年 加力…前半:単語 10 問テスト(一問一答)、後半:書く(記述)問題、複数資料の読み取り
・1年 加力…単語 10 問テスト(一問一答)、テストに向けて資料の読み取り、文章問題
・振り返りのフィードバック…ロイロで提出させ、ラインやコメントを入れて返している。
数学 ・振り返り(一枚ポートフォリオ)…生徒の疑問や定着しているかどうか判断→フィードバック
・授業中、問題を多く解く(1~5問(個人・グループ)、ワーク → 技能面の強化
・文章題・活用問題を6問 → 解決過程をロイロにアップ。解説を読んだら分かるようにしたい。
・生徒の教え合いに任せる時間を作り、支援が必要な生徒の個別支援の時間を確保する。

授業改善・学力向上に向けた組織的・効果的な校内研究(各校の好事例)

PDCAのAの1つ目
カリキュラム・マネジメントの視点で
教育課程を見直し授業改善に生かす



池川小学校の取組

「教材研究のステップ」の活用
参観者、授業者が「より自分ごと」に
学校全体で授業の具体を明らかに

指導案検討シート (3年生 モチモチの木)

令和4年11月2日

○ステップ1 単元(教材)で重点的に指導する指導事項(=育成を目指す「資質・能力」)は何?

・C読むこと(1)エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。

・C読むこと(1)オ 文章を読んで理解したに基づいて、想像や考えをもつことができる。

⇒上記のどちらにするかを、まず授業者を全面的にプロットして話し合ってください。

・C読むこと(1)エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。

○ステップ2 単元末で「資質・能力」が身に付いた児童の姿の具体を言葉で書いたら?

⇒単元末で期待する児童の姿とは?

登場人物の気持ちの変化や場面の移り変わりも

○ステップ3 単元で指導する育成の中心人物の

○ステップ4 評価標準の設定

【知識・技能】→様子や行動、

【思考・判断・表現】→登場人物の具体的な姿

⇒文章を読んで理解したに基づいて、想像や考えをもつことができる。C(1)オ

【具体的に取り組む態度】→学習の見直しをもつて、文章を読んで理解したに基づいて想像をもち、考えたことなどを伝え合おうとしている。

○ステップ5 単元の指導と評価の計画が、単元ゴールに向かうための計画になっていますか?

【単元ゴール】
斎藤隆介さんの他の作品に出てくる中心人物のリーフレットで想像したことを伝え合う

学習活動	学習活動の目的	評価
1. 物語を読み、登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	文章を読んで、登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	ノート・発表 【100点】
2. 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	ノート・発表 【100点】
3. 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	ワークシート・発表 【100点】
4. 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	ワークシート・発表 【100点】

○ ステップ2 単元末で「資質・能力」が身に付いた児童の姿の具体を言葉で書いたら?
= 単元末で期待する児童の姿とは?

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、具体的に想像することができ、場面の移り変わりも含めて表現することができる。

5. 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	リーフレット・発表 【100点】
6. 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	リーフレット・発表 【100点】
7. 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	リーフレット・発表 【100点】

PDCAのAの2つ目
授業だけでカバーしきれない、積み残しの
部分へのアプローチ



家庭学習・加力指導・帯タイムの活用、充実を！
子どもが課題を認識し、主体的に取り組むための
仕組み作りも大切

先生から
出た課題。また
ぼくの苦手な
方程式だ。



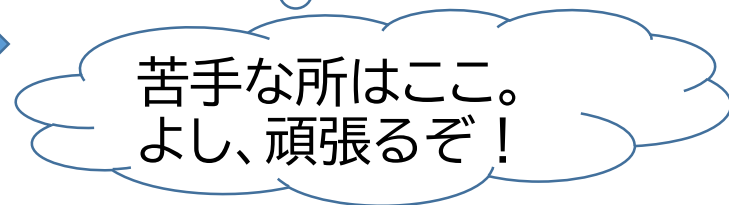
今日は、この
課題をやって
きてくださいね。



うちの学校が
どうしても、
積み直しが必要な
のはこれだ！



苦手な所はここ。
よし、頑張るぞ！



PDCAのAの2つ目
授業だけでカバーしきれない、積み残しの
部分へのアプローチ



伊野小学校の 取組

年間を通して
児童が主体的に学習に取り組む
仕組みづくり
みんなで勉強する雰囲気づくり

伊野小みんなで
かしこくなろう



やったー、
100点。次
へ進もう！



PDCAのAの2つ目
授業だけでカバーしきれない、積み残しの
部分へのアプローチ



中央小学校の取組
自分の課題に気づき、
学びに向かう主体性を
育てる取組

子どもが自分の課題を認識

教師と児童と一緒にシートを見て、児童が、
自分の成果や課題を認識する場面を設定
する

児童のやる気を
引き出す
児童の頑張りを
後押し

算数の**図形が弱かつ**
たので、次はそこを頑
張りたいです。

どこを、どう頑張
ったらいいと思う？
弱みは…。

〇〇くんが
頑張ると言っ
ていたところ、
よくできてい
たね。

努力してよかったなあ。**次も、**
こうやって勉強するぞ！



PDCAのAの2つ目
授業だけでカバーしきれない、積み残しの
部分へのアプローチ



大川小中学校の 取組

個別最適な学び
一人一人に適した学習と、
クラスの実態に適した学習環境づくり



今日も問題に挑戦！
まずは「基本」をやっ
てみよう。

iPadを家庭に持ち帰り活用

月曜日～木曜日 10～15分間
「基本」「標準」「発展」

自分の苦手な教科を選択し、取り組む

わたしの
苦手な教科は
国語だから…。



ぼくの
苦手な教科は
理科だから…。



ロイロノートで、
やりとり